

## ASEAN Young Women Leadership Program 第4回レポート

経営学部 4年 相川 陽香  
2年 町田 夕樹

ミャンマー生活も4ヶ月目に入り、そろそろ1年間にわたる2ヶ国留学が終わろうとしています。現在2ヶ国目のミャンマーのヤンゴンという都市で英語の授業はもちろんのこと、ミャンマーの公用語であるビルマ語をも勉強している最中です。なかなか理解に苦しんでばかりですが、韓国、ラオス、オランダ、ドイツ、台湾、タイなど一緒に授業を受けている生徒たちが国籍豊かなので楽しいです。ミャンマーは思ったより英語教育が浸透しておらず、タクシーの運転手やスーパーの店員など、ほぼ英語が通じません。生活し始めて日が間もない頃はレストランで食事をするさえも満足にできませんでしたが、今は何とか授業で学んだ単語を駆使して写真を見せたり身振り手振りでコミュニケーションをとれるように頑張っています。



最近公共バスの乗り方を覚え、週末のお出かけのほとんどはタクシーではなくバスで移動するようになりました。区間を問わず1回の乗車で200チャット(約20円)という日本では考えられない破格です。ただ手すりを握りしめていないと振り落とされそうになるほど運転手の運転が荒いです。乗り降りしている最中でもバスが動き出したりするので、ちょっとした日本のジェットコースターより怖いかもしれません。まあ安さにはかないませんね(笑)

ミャンマーならではのストリートフードも安くて美味しいものがたくさんあるので毎日のおやつに欠かせません。ただ何故か見た目が悪いものがほとんどで食べる前には少しの勇気が必要です。初めはクラスメートやミャンマー人に教えてもらって恐る恐る食べてみるといった感じです。南国フルーツ(マンゴー、パイナップル)のカットされた食べ歩き用なものも道端で 30 円ほどで売られています。帰宅途中はたいていパイナップルを食べながら、という贅沢な生活を送っています。

帰国まで残り僅かなので日本では経験できないことをたくさん吸収して、日本で待っている友達や先生方に笑顔で「ただいま」を言えるように、ラストスパート頑張ります！